

資料 5

八ッ場あがつま湖の類型指定に向けた調査の実施について

令和7年2月18日
群馬県環境保全課

1. 概要

令和2年度から管理を開始した八ッ場ダム（八ッ場あがつま湖）は、現在吾妻川上流の一部として河川の類型が適用されているが、湖沼としての類型指定の要件（「貯水量1,000万m³以上」及び「滞留時間4日以上」）を満たしているため、湖沼として改めて類型指定を実施したい。

湖沼の類型指定を実施することにより、湖沼としての利水や水生生物に着目した総合的な水質汚濁防止対策を行うことが期待される。

2. 事業内容

- ・令和6年度で現況水質把握の目安となる5年分のデータがそろうため、令和7年度から令和8年度にかけて類型指定作業を実施する。
- ・類型指定を実施するためには、水質や水生生物の現況把握、将来予測等、様々な基礎資料が必要となる。
- ・水質に係る部分については、平成27年に実施した河川類型指定格上げに係る基礎資料作成の実績のある衛生環境研究所に依頼し、水生生物に係る部分については外部委託により実施する。

3. 予定

令和7年6月～12月：類型指定に係る調査実施

令和8年 1～2月：環境審議会諮問（環境審議会水質部会で審議）

6月：類型指定告示